

(公財) 西条市スポーツ協会様 主催 「第7回 障がい者フライングディスク競技大会」
2021(R3)/10/17(日) 8:30 ~ 14:50 ビバ・スポルティアSAIJO

指導員・お手伝いいただいたスタッフのみなさま、お疲れさまでした。
下記、簡単ですが、実施報告をいたします。



大会において、「けが」をされたり、「体調を崩された方」は、おられませんでした。

参加選手人数(アキュラシー競技 36名・ディスタンス競技 29名)

(女性 9名 男性 27名(アキュラシー競技 1回戦時))

参加指導員 (順不同敬称略)

- 東予地区 西坂 ・ 高橋 ・ 羽藤
- 南予地区 山崎
- 中予地区 信田 ・ 有重 ・ 栗林 ・ 徳永(五) ・ 曾根 ・ 長山 ・ 大原
- * 西坂副会長は、主催者側としての、ご参加でした。

大会スタッフとして、指導員と一緒に、ご協力いただいた方々

- 大西 東予地区コーディネーター (今治)
- 西田 南予地区コーディネーター (八幡浜)
- 丹下 初級障がい者スポーツ指導員 (松山)

大会運営(役割分担)についての、ご報告(敬称略)

- 代表者挨拶(開・閉会式) 信田
- 記録委員長 羽藤
- 招集・誘導委員長 曾根
- 練習(全体指導) 長山
- 競技・運営委員長 大原

○ アキュラシー競技

| (1・2回戦時) | | | |
|----------|--------------|-------|------------|
| | サイト 1 | サイト 2 | サイト 3 |
| 招集 | 大原(アナウンス)・有重 | | |
| 受付 | 山崎 | 徳永(五) | 丹下 |
| 誘導 | 曾根 | 高橋 | 大会 スタッフ |
| 主審 | | | |
| ディスク渡し | | | |
| 副審 | 有重 | 栗林 | 長山 |
| ディスク拾い | | | |
| 記録 | 山崎 | 徳永(五) | 丹下 |
| 記録補助 | 西田 | 西坂 | 大西 |

| (決勝戦) | |
|--------|-------|
| | サイト 1 |
| 招集 | 大原・有重 |
| 受付 | |
| 誘導 | 高橋 |
| 主審 | 曾根 |
| ディスク渡し | 有重 |
| 副審 | 栗林 |
| ディスク拾い | 徳永(五) |
| 記録 | 長山 |
| 記録補助 | 山崎 |

(お願い)
漏れや、間違いなどありましたら、大原までお知らせを、お願いいたします。

○ ディスタンス競技

| サイト 1 | |
|--------|---------------------------|
| 招集 | スタッフ14名で、 ローテーションしました。 |
| 受付 | |
| 誘導 | |
| 主審 | |
| ディスク渡し | |
| 副審 | |
| ディスク拾い | |
| 記録 | |
| 記録補助 | |

○ 大会の流れ (タイムスケジュールに沿って) の、ご報告

8:00 スタッフ集合 ・ 設営作業
(8:00～8:30の間でお知らせしましたが、みなさん、8:00には、ご集合いただいていた。)
早朝より、ありがとうございました。

8:30 受付開始 (西条市スポーツ協会様 にて)

8:40 指導員ミーティング

9:00 開会式 (西条市スポーツ協会様 にて)
EFADから、信田会長が代表のご挨拶をされました。

9:20ごろ EFADへ、進行をお預かり
スタッフ紹介・競技説明 (大原)
準備運動
(曾根さんにて、ラジオ体操を進行していただきました。)
練習
(全体指導を長山さんが進行され、指導員全員で、練習に加わりました。)

9:50ごろ 休憩(水分補給など)

10:00～ アキュラシー競技 (1回戦(6組)・2回戦(3組))
11:25ごろ

11:30 アキュラシー競技 (決勝戦) 開始
6名のうち、2名が「10投」を通過しましたの
で、2名による、再投に持ち込みました。
再投(1回目 5m) → 引き分け
再投(2回目 7m) → 引き分け
再投(3回目 7m) → 順位決定

11:50 アキュラシー競技 終了。 昼食・休憩

13:00～ ディスタンス競技 (1サイトのみで競技実施。 5組)
14:20ごろ 予定では「6組 (D-1 ～ D-6組)」でしたが、「メンス・シテイング(1名)」の
選手が欠席されましたので、D-2 ～ D-6組の、5組で実施しました。

14:25ごろ 表彰・閉会式
○ アキュラシー競技の、表彰
○ ディスタンス競技の、表彰
を、それぞれ、西条市スポーツ協会様がされました。

○ 「三重とこわか大会」へ、参加予定でした、5名の
選手のうち、3名が大会に参加されていたので、
信田会長より、「認定証」と、「記録表」を、
お渡ししていただきました。

14:50ごろ 大会終了・記念撮影





○ EFADオリジナル「伝言(連絡)版(仮称)」整備の、ご報告

昨年の第6回大会から、「コロナ禍における、聴覚ハンディの選手の方々への、サポート」をきっかけに、指導員のみならずみなさまからのご意見・ご提案など、お力添えをいただきながら、取り組みを続けております。

「みなさまからの、少しずつのお力添えの、『積み重ね』」のおかげで、今大会において、写真のような、大変に立派な「伝言(連絡)板」を整えることができました。

「書いて、お伝えすること」は、聴覚ハンディの方のみに限らず、その他のハンディの方々や、ご高齢の方々にも情報をお伝えする手段として、大変、有効なものではないかと、思っております。

今後の行事においても、大いに活用できると思いますので、事務局にて、大切に保管させていただきます。引き続き、よりよいサポートができていくよう、努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

